

耕作放棄地解消と獣害対策に向けた 和牛放牧の推進

湖北地域振興局農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

木之本町杉野地区は中山間地域に位置し、野生獣による被害が多発し、また、担い手不足により耕作放棄地が増加していました。

このため、平成15年から畜産技術振興センターから和牛を借り受けて、放牧に取り組み一定の効果があることが認識されたので、平成20年度は集落自ら繁殖雌牛2頭を購入して放牧をしました。

近隣集落でも耕作放棄地が増加し、野生獣被害も増加しているため、杉野地区をモデルとして、近隣集落への和牛放牧の推進に取り組みました。

【普及活動の成果】

木之本町杉野地区

放牧地では、雑草が押さえられるとともに、野生獣被害も減少しました。また、2頭とも無事雌仔牛を出産し、しばらく親仔ともども放牧した後、仔牛を販売し、継続的に和牛繁殖を行なう手ごたえがつかめました。

平成20年度、放牧牛は冬の間、近隣の畜産農家へ飼育を委託しましたが、今後は周年飼育を検討されています。

西浅井町

放牧の効果を広く住民に周知するため、雑草管理に苦慮している町有地で、畜産技術振興センターの協力のもと、山羊・羊の放牧を実施しました。雑草は減少するとともに、土日には、近隣の住民も子供とともに訪れ、放牧への理解を深めることができました。

平成21年の和牛放牧実施に向けて、新たな集落に働きかけを行なっています。

